

【9 月度定例会】 2014 年 9 月 13 日(土)

理事	高野(高野デザインプロデュース)		秋葉(秋葉建設)		
会員	久保田	近藤(近藤商事)	初芝	橋本	藤田(藤田建築)
	渡辺	岩田	立川	梅村	竹中
	川砂(do.建築工房)	城	星	肝付	阪本(アヴィスト)
	初芝(真)				都澤
オブザーバー					

参加者 9 名

定例会 13:30~16:30

■ 理事長挨拶

古民家 Re-up の第二弾が決定しました。

- ・内容希望あれば取り込めるか
 - ・古民家のよさ、住宅ストックのゼミや講演会を企画？(会場、講師+イベントなど検討)
- Re-up=こんなに凄くなるのか？を知ってほしい

■ 会員近況報告・オブザーバー自己紹介

- 久保田:古民家カフェに置いていた Re-up のパンフレットが無くなっていたので、興味を持っている人は多いとおもう。
- 近藤:長年の夢であったジャズバーが来月完成します。
- 阪本:前職の仕事に関わる案件を手伝っている。
- 城:茅葺の住宅 八郷で 20 棟、笠間で 45 棟撮影してきました。 10 月は秋田の予定
- 初芝:茂木~筑波旅行。北大路魯山人の旧邸『春風萬里荘』がすばらしかったです。
- 初芝:整理収納アドバイザーの中山さんのブログで印象的だった内容をご紹介します
- 秋葉:チルチンぴと 夏号で古材特集をしています『住まいは生き方』

■ 協議 古民家調査について

当協会独自の項目を設定し、古民家調査を行っていく

調査や提案をするうえで、まずは知っておくべきという記事を久保田さんよりシェア

- ・老々相続(高齢者が古民家を所有する現状)
- ・仕方なく、相続した実家を空き家として放置
- ・相続した古民家に住むには、家族内で温度差があり個人の意思ではどうしようも出来ない事も
- ・解体費は無い、賃貸も難しい
- ・光熱費・固定資産税は掛かるが本人も年金暮らしのため困っている、一時金が難しい
- ・庭の放置はクレーム対象となり得る
- ・但し、若い世代などは都市型の考えではなく新たな(原点回帰)考えが出てきている
- ・デンマークやノルウェーでは“レンガを持って生まれてきた、このレンガを使って家を建てたい”という文化がある

● 千葉県古民家再生協会の役割は？

- ・建物以外にも、ライフスタイルの提案も必要なのではないか

- ・“地域の資本”としての古民家や地域環境を見直してもらうなど
- ・古民家は農村・田舎など全体の一部に過ぎない
 - 社会の構造としての仕組みや多様性を担う
 - 古民家を保存しながら活かすには

- 調査票項目草案

- ・年月日
- ・所有者/依頼者/所在地など
- ・家の概要
- ・家の状態・総合評価
- ・総合要旨(文章で記入)
- ・周辺環境
- ・内部
- ・設備
- ・外部
- ・平面図/写真添付

- 調査代…30,000 円程度が妥当

- ・基本的に 2 人で調査
- ・人工 10,000 円/人 残りは協会へ
- ・人選＝日にち・場所 OK な方優先
- ・その他のことは未定

以 上

議事録作成者 都澤